

令和8年度 第1回門司在宅医療・介護従事者研修会

1. 実施概要 : 講演会 「腎不全と腹膜透析について学ぼう！」 ～地域で支援をつないでいこう～

① 実施日時 令和8年5月12日(火) 19時00分～20時30分

② 実施場所 門司掖済会病院 本館1階講堂

③ 参加者

職種	人数
医師	4名
歯科医師	1名
看護師・准看護師	21名
ケアマネジャー	14名
リハビリ職・ME	4名
介護職	4名
MSW・相談員・その他	5名
合計	53名

所属機関	人数
医療機関	17名
介護施設	4名
訪問	26名
通所	2名
その他	4名
合計	53名



※ 担当理事1名、連携支援センター職員2名含む
他 講師3名、株式会社ヴァンティブ4名

④ 内容

時間	内容
19:00～19:05	開会挨拶(門司区医師会会長 香月 きょう子先生) (座長: 門司在宅医療・介護連携支援センター 新門司病院 院長 白川 伸一郎先生)
19:05～20:00	第一部: 講演「腹膜透析(PD)を用いた透析医療連携の拡充」 講師: 門司掖済会病院 院長 金井 英俊先生 講演「医療介護従事者のためのPDセミナー」 ～在宅療養支援に必要な視点を学ぶ～ 講師: 門司掖済会病院 腹膜透析認定指導看護師 隈河 賢子先生、八木 仁深先生
20:00～20:25	第二部: 体験型研修 腹膜透析に関する機器・物品の紹介、デモンストレーション 協力: 株式会社ヴァンティブ
20:30	閉会



⑤ 共催 福岡県透析医会北九州ブロック

2. アンケート (回収率70.0%)

1. 本日の研修会について

大変参考になった	30	あまり参考にならなかった	0		
参考になった	4	参考にならなかった	0	普通	0



本日の研修会について	
・	実際の機器でデモを見ることが出来て、イメージしやすかった。
・	初めてPDについて学びました、参考になりました。
・	実際に機器を見ることが出来、理解しやすかった。
・	腹膜透析自体を知らなかったなので、勉強になりました。
・	実物を見ることができ、手技もわかってよかった。

- ・腹膜透析は最近よく耳にしていたので、興味があった。
- ・PDの知識が足りず、全てが勉強になりました。
- ・腹膜透析の患者さんに関わったことがなく、制度やどのような場合に有効など大変勉強になった。
- ・とても難しいものだと思っていた。
- ・利用者さんでも簡単にできるのか…知りたかった。
- ・在宅で是非支援していきたい。

2. 今後の職務に活かせるか

大いに活かせると思う	27	ほとんど活かさないと思う	3
まあまあ活かせると思う	4		

理由
・不安が減った。
・介護施設のため、携わることはない。
・透析に携わることはありませんが、もしも患者さんに聞かれた時、説明の参考になりました。
・基礎知識から、使用方法まで理解することが出来、在宅でも活用していきたい。
・腎機能低下している方の支援をしており、今後の生活の助言に活かせると思う。
・腹膜透析の利用者さんがいるので活かせると思う。
・以前受け持っていた方が使用していた機器よりも、現在は機器の操作が簡単になったことを知りました。
・今後、腹膜透析の方が増えることも予測されるため、参考になりました。
・血液透析の方は色々困る事がある（施設や介護タクシー）自宅で透析出来るのはとてもいい。

3. 本日の研修会について、ご意見・ご感想をご記入下さい。

研修会に対するご意見やご感想・質問など
・動画や実演などわかりやすかった。
・とてもわかりやすく、今後に活かそう。
・腹膜透析をされる方が、もっと増えてほしいと思いました。
・今後、HDの方が少なくなれば、今不足している介護タクシー問題も少しは解決しそう。
・知らない分野の話が聞けて有意義だった。
・PDチューブはどうやって留置するのか、OPが必要？
・PDチューブの交換時期は？

4. 今後の研修会で希望されるテーマを教えてください。（複数回答可）

心疾患(5) 脳血管疾患(1) 糖尿病(6) 慢性腎臓病・透析療法(1)
 パーキンソン病(9) ALS等の神経難病(8) 認知症(6) 栄養管理・食支援(5)
 がん・緩和ケア(4) 在宅看取り(7) 褥瘡・創傷ケア(5) 感染症(3)
 皮膚・排泄ケア（ストーマケア等）(8) ACP・意思決定支援(3)
 権利擁護・成年後見制度(4)
 その他(1) （うつ病）